

2017年3月期
第2四半期決算説明会

2016年11月14日
株式会社 ユタカ技研

ご説明内容

Ⅰ．2017年3月期 第2四半期累計 決算概況

Ⅱ．2017年3月期 見通し

Ⅲ．事業状況

2017年3月期

第2四半期累計 決算概況

17年3月期第2四半期累計　連結決算概況

（単位：億円）

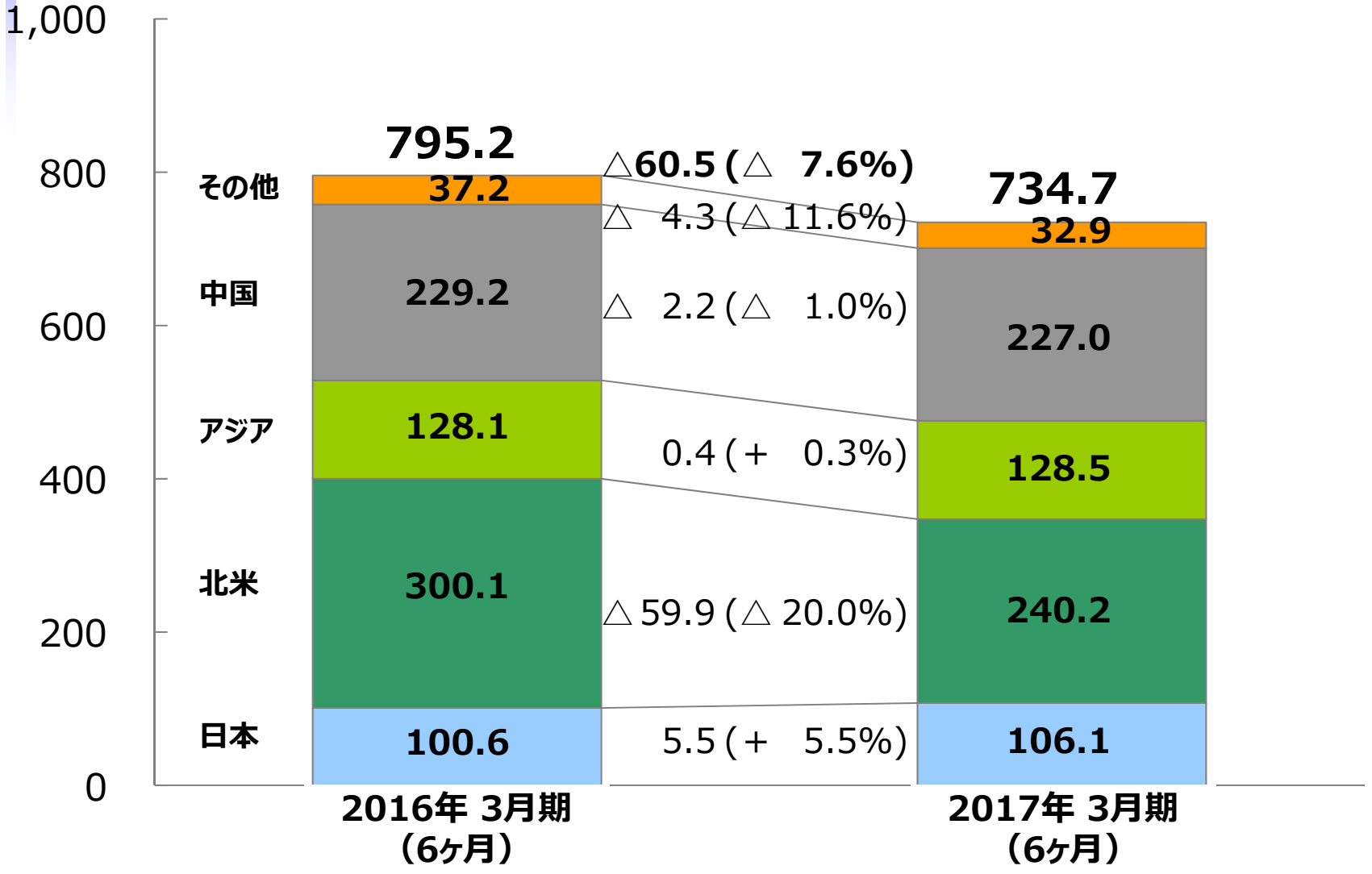
	2016年 3月期（6ヶ月）	2017年 3月期（6ヶ月）	増　減
売上収益	795.2	734.7	△7.6%
営業利益	66.9	56.7	△15.1%
税引前利益	65.7	44.3	△32.6%
四半期利益	45.3	30.5	△32.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	35.9	23.6	△34.3%
基本的１株当たり四半期利益	242.36円	159.34円	△83.02円
１株当たり中間配当金	22.00円	30.00円	8.00円
	($1=¥122)	($1=¥105)	

連結全体で減収減益

17年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別売上収益

（単位：億円）

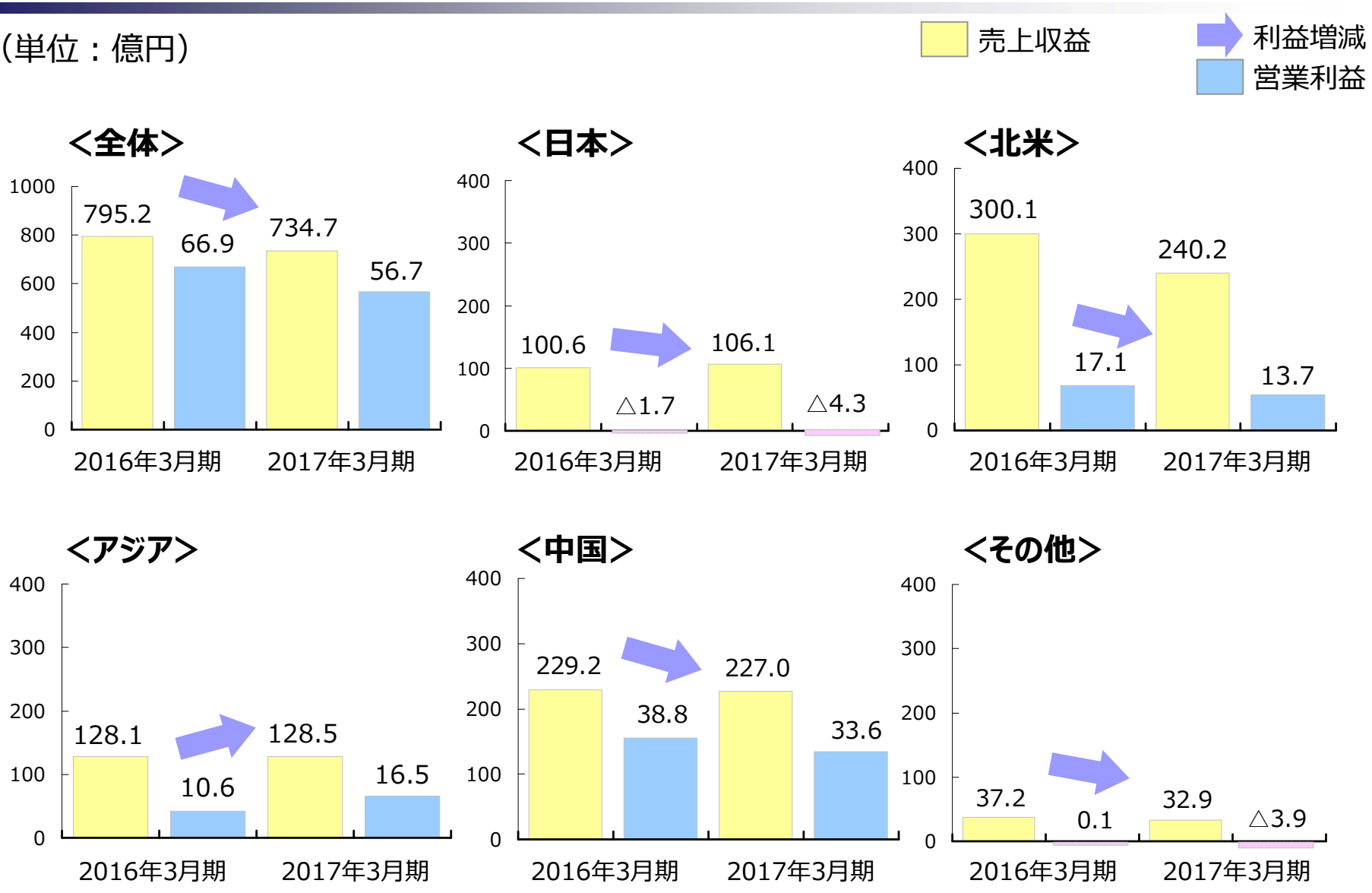
（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）



主に北米の円高影響が大きく減収

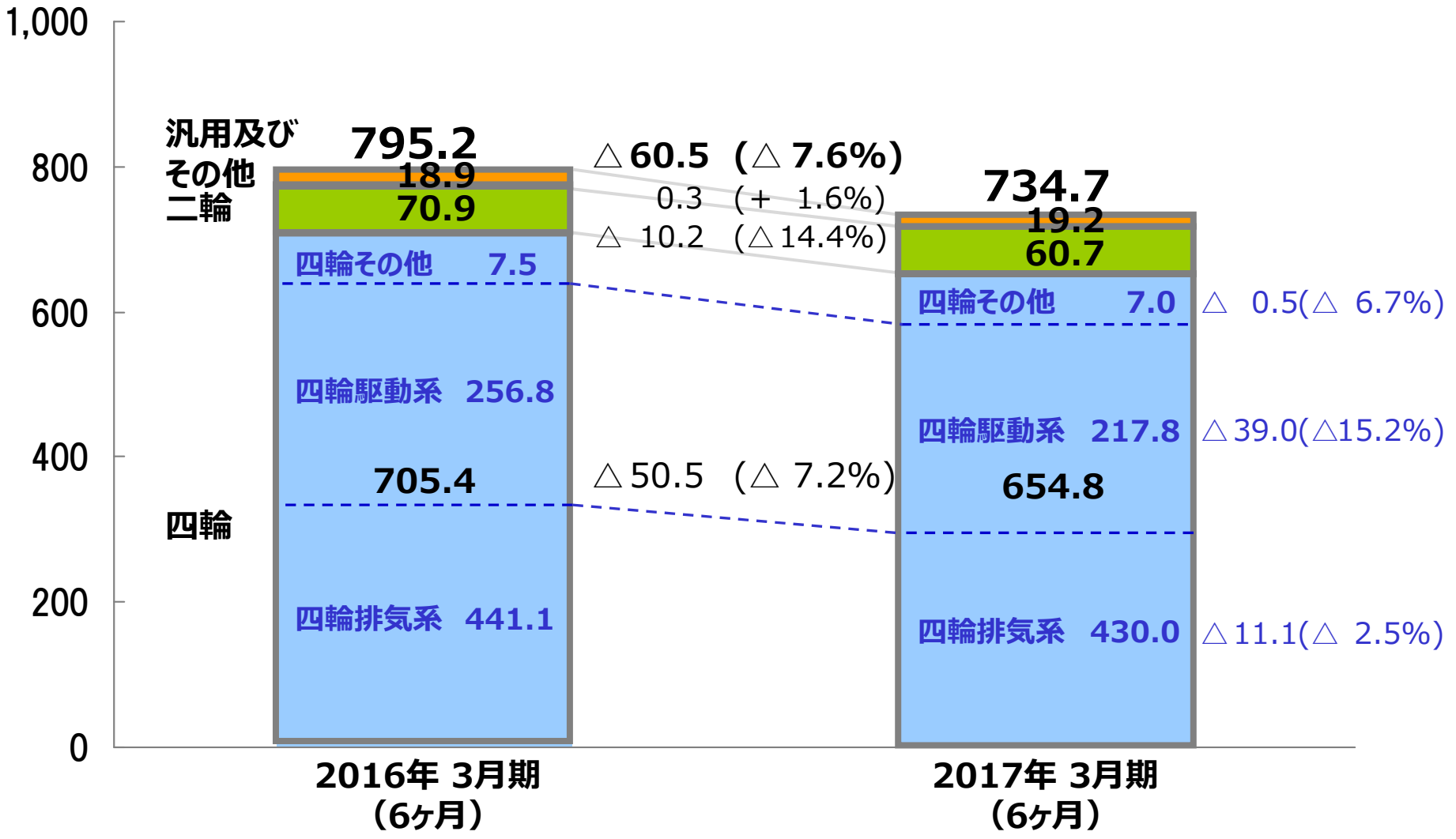
17年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別営業利益

(単位：億円)



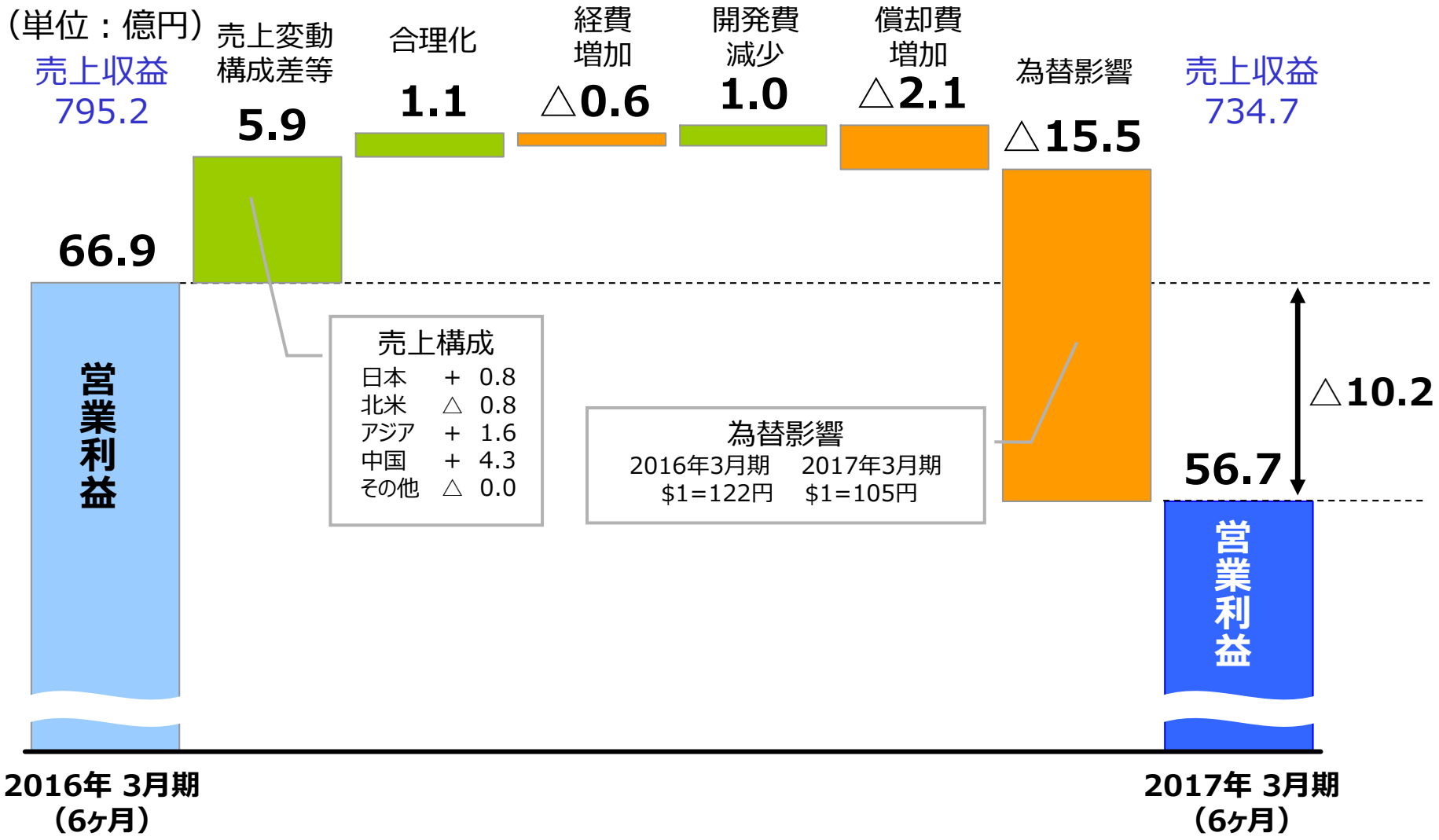
円高影響により減益

17年3月期第2四半期累計　連結決算概況　製品別売上収益



円高影響によりほぼすべての製品で減収

17年3月期第2四半期累計 連結決算概況 営業利益 増減要因



売上変動及び構成差や合理化等の効果があったものの円高影響により営業利益は減益

2017年3月期
通期見通し

17年3月期連結見通し

(単位：億円)

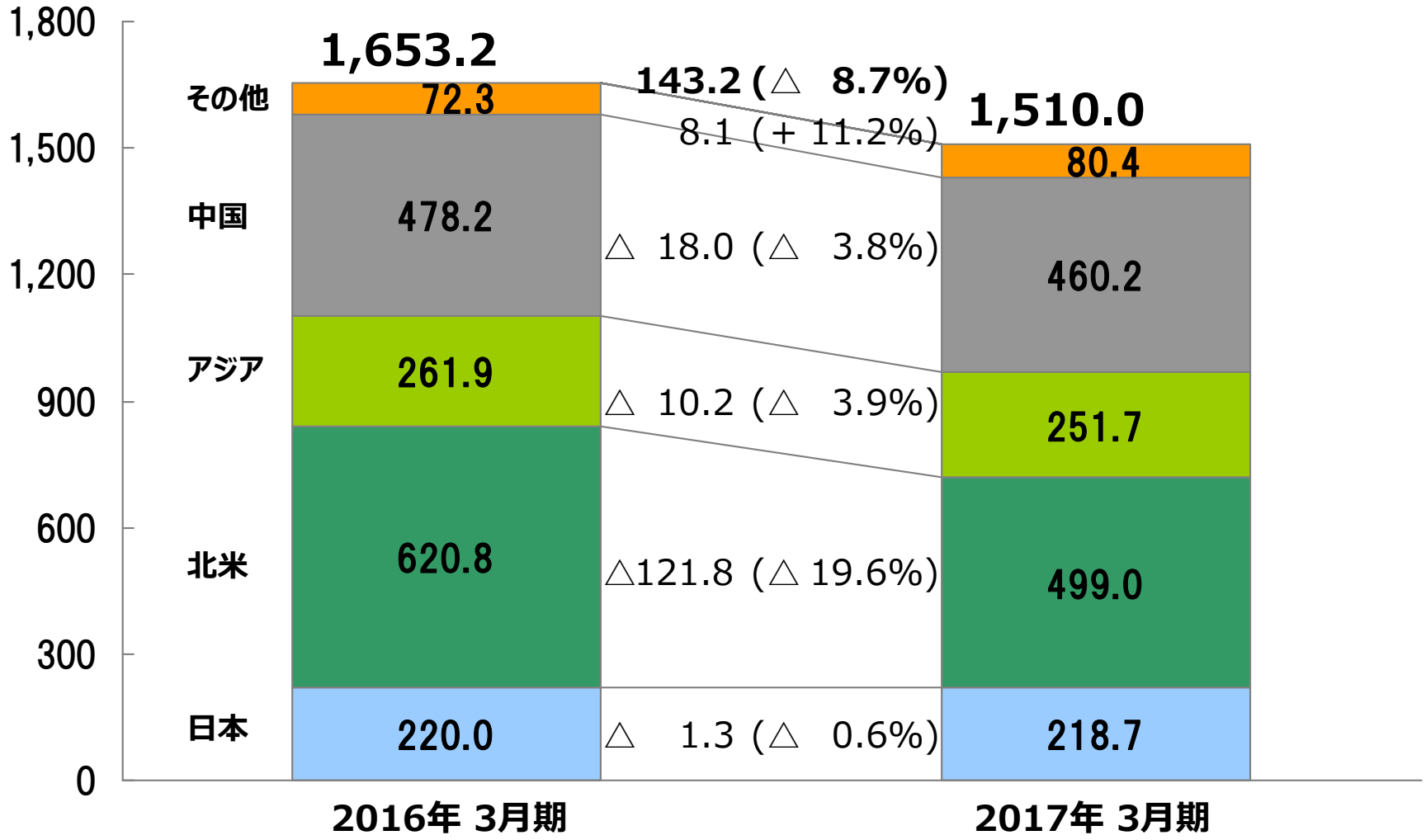
	2016年 3月期	2017年 3月期	増　減
売上収益	1,653.2	1,510.0	△8.7%
営業利益	146.4	112.0	△23.5%
税引前利益	134.5	102.0	△24.2%
当期利益	87.3	65.0	△25.6%
親会社の所有者に帰属する当期利益	71.9	51.0	△29.1%
基本的1株当たり当期利益	485.47円	344.16円	△141.31円
1株当たり配当金	50.00円 ＊中間 22円，期末 28円	60.00円 ＊中間 30円，期末 30円	10.00円
	($1=¥120)	($1=¥104)	

連結全体で円高影響により減収減益

17年3月期連結見通し 地域別売上収益

（単位：億円）

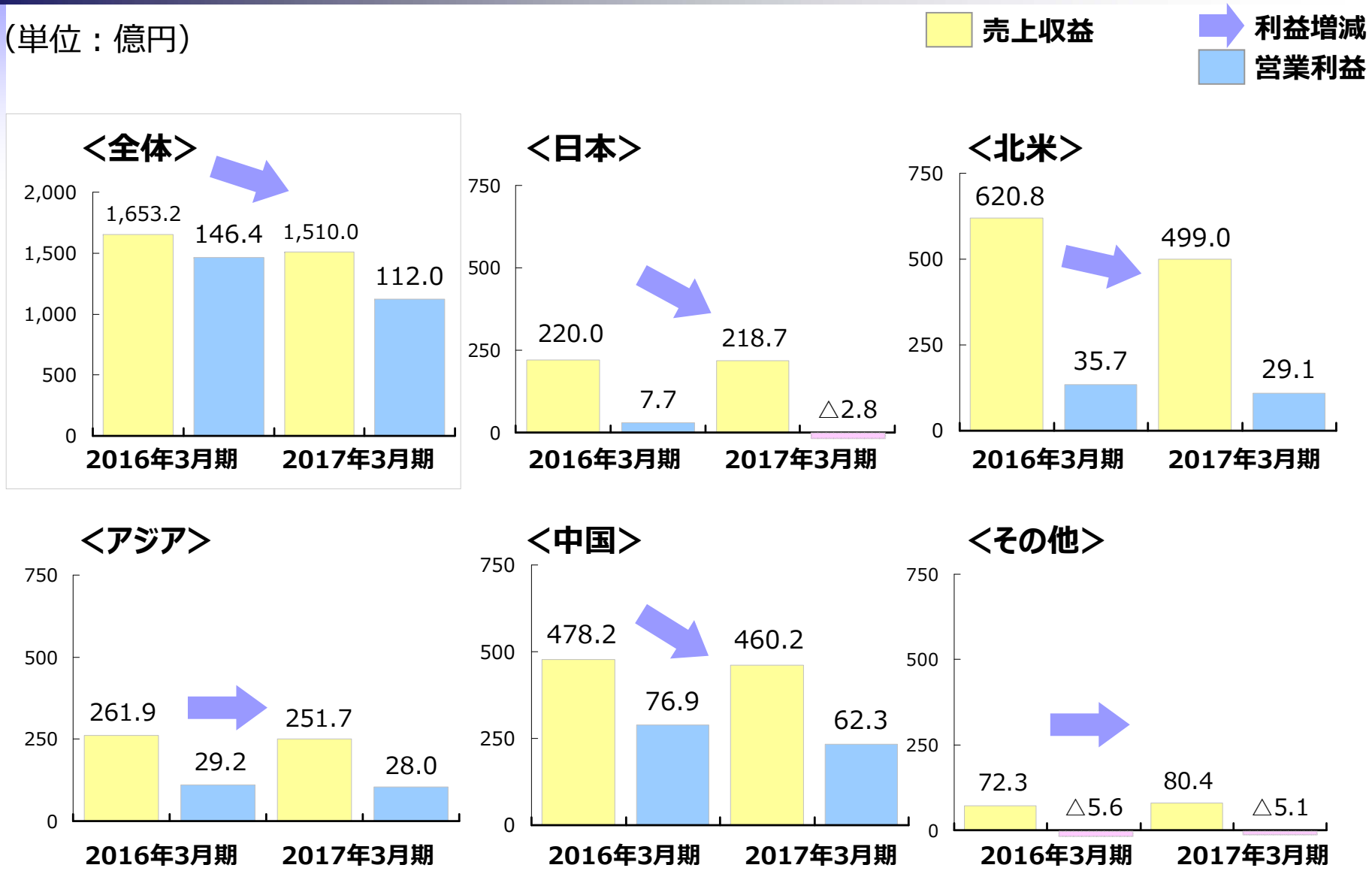
（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）



為替影響により、ほぼすべての地域で減収見通し

17年3月期連結見通し 地域別営業利益

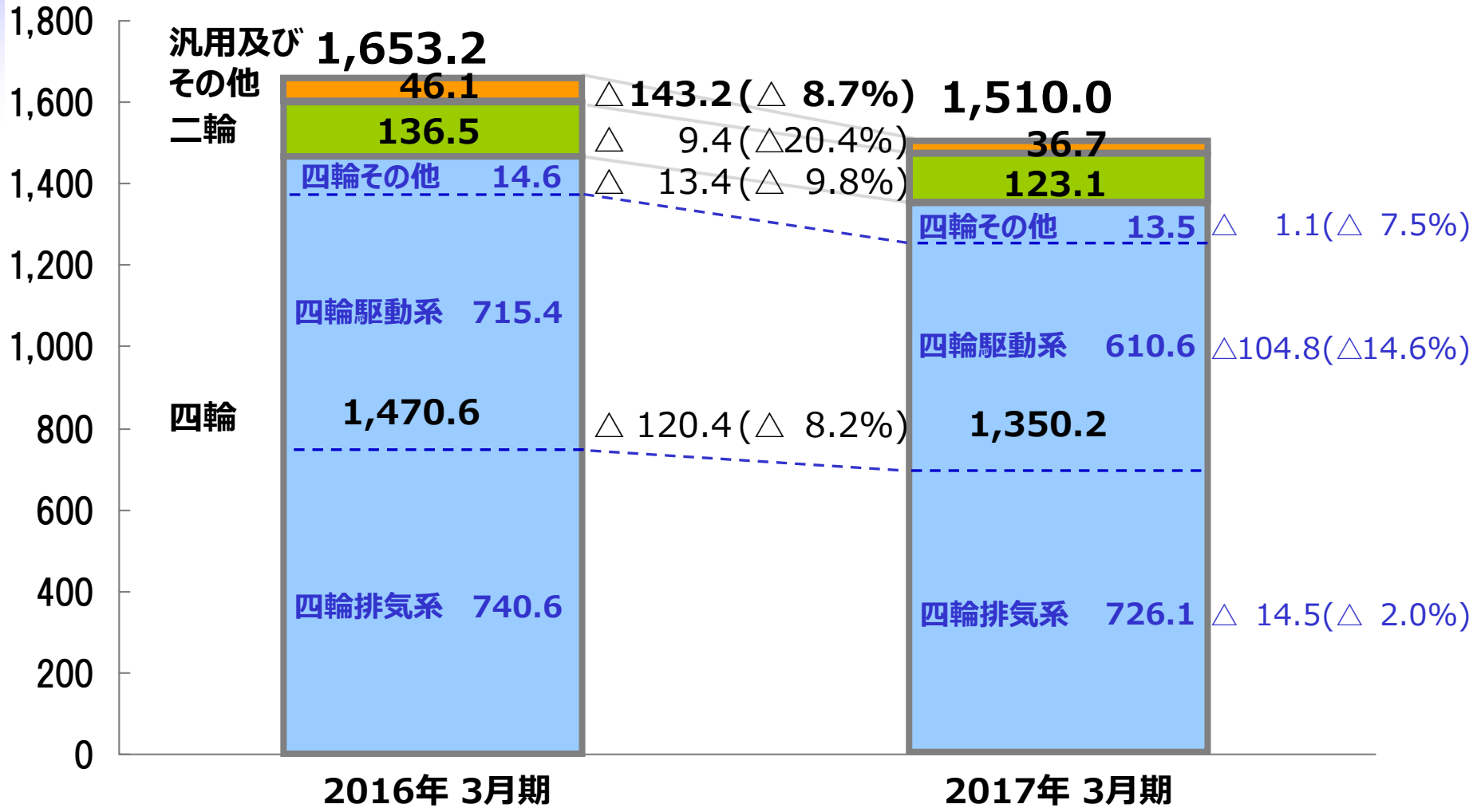
(単位：億円)



為替影響により、ほぼすべての地域で減益見通し

17年3月期連結見通し 製品別売上収益

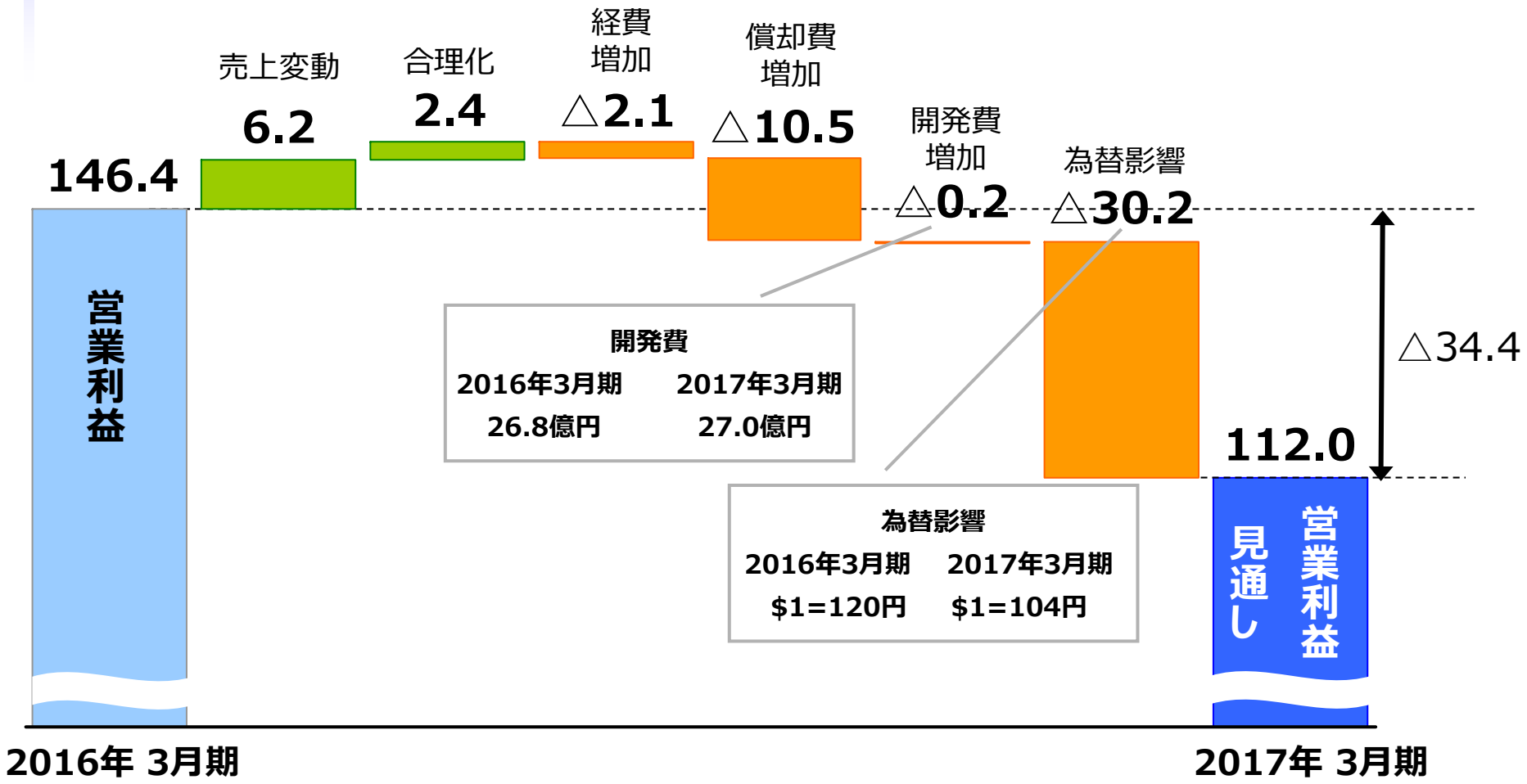
(単位：億円)



円高影響によりすべての製品で減収見通し

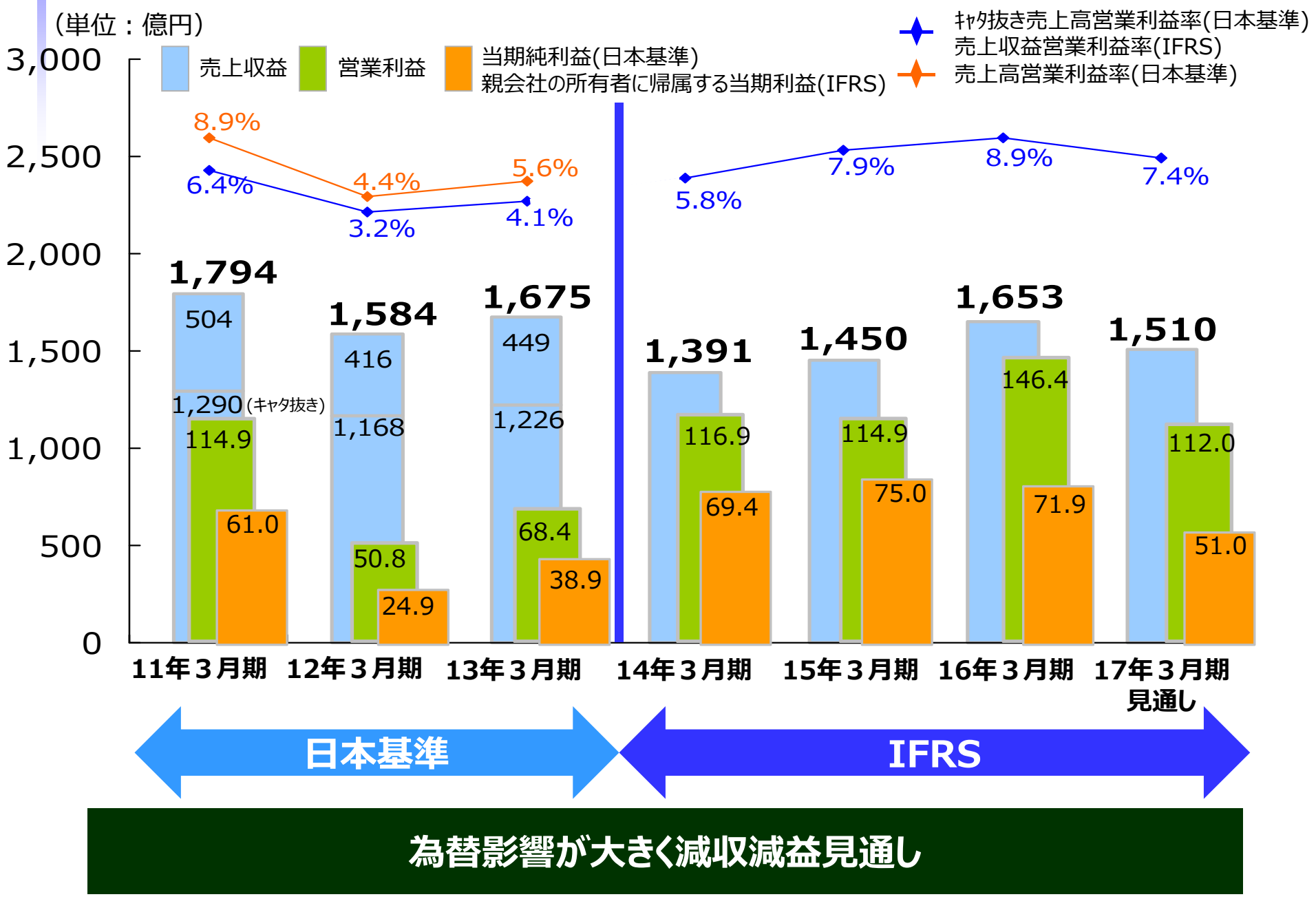
17年3月期連結見通し 営業利益 増減要因

(単位：億円)



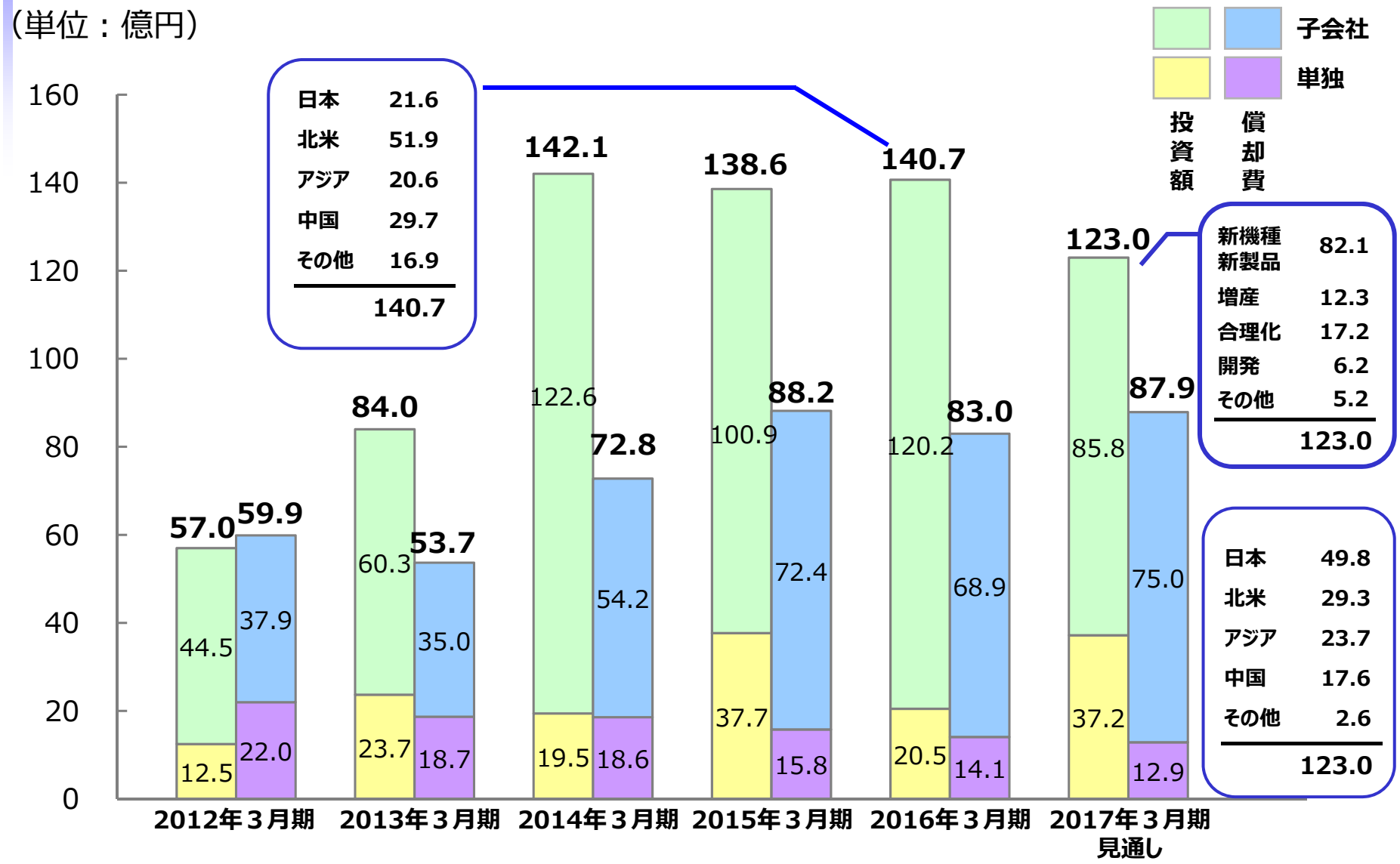
売上変動や合理化効果があるものの為替影響が大きく減益見通し

17年3月期連結見通し 売上収益及び利益の推移



17年3月期連結見通し 設備投資額の推移

(単位：億円)



日本	21.6
北米	51.9
アジア	20.6
中国	29.7
その他	16.9
	140.7

新機種 新製品	82.1
増産	12.3
合理化	17.2
開発	6.2
その他	5.2
	123.0

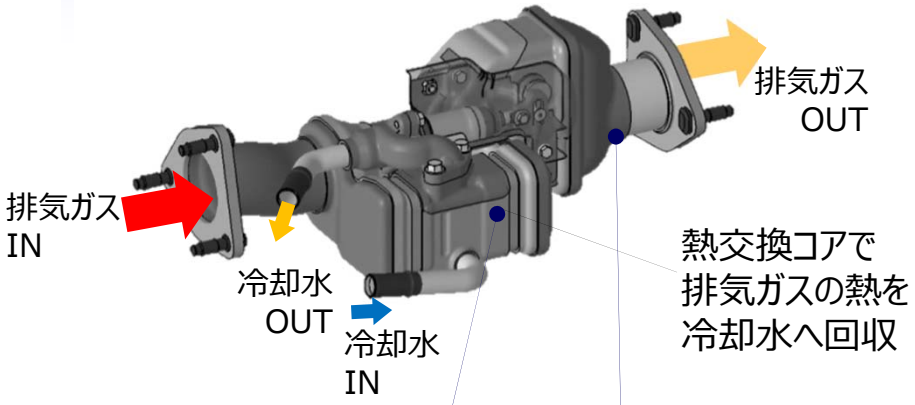
日本	49.8
北米	29.3
アジア	23.7
中国	17.6
その他	2.6
	123.0

新機種・新製品及び増産対応を実施

事業状況

Yutaka新製品のご紹介

ヒートコレクター

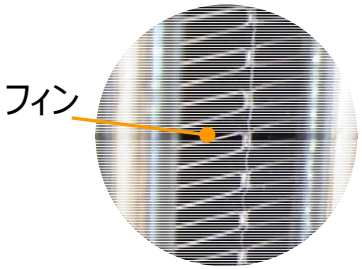




採用車種：Honda アコード（2016年5月発売）

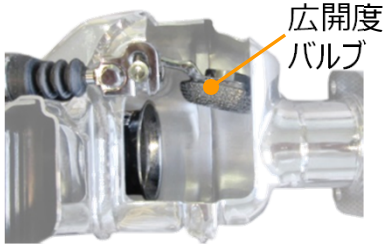
熱交換コア

小さくて高性能な熱交換コア
精密プレス加工技術により
伝熱フィンのピッチを極小化



排気流路切替バルブ

低圧損でエンジン出力を損なわない
サーモアクチュエータの工夫で
大きく開く切替バルブ



キャタリストコンバータ

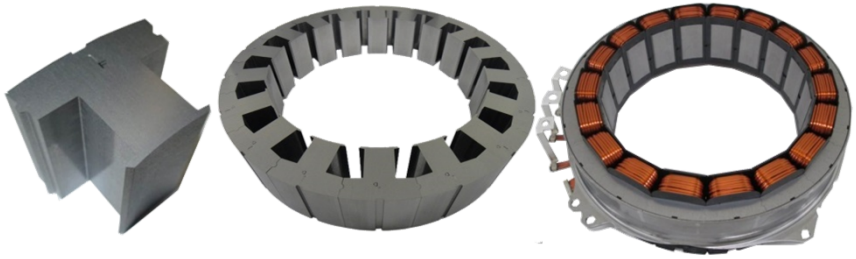


・ハイブリッド専用設計

・従来2か所の触媒を一体化した
軽量・コンパクトボディー

Yutaka新製品のご紹介

ステーターコア（モーター部品）



●ステーターコアとは

板厚0.35mmの電磁鋼板136枚をプレスで
打抜き金型内で積み上げてカシメ積層したもの

コイルを巻くことで電磁石になりロータの回転力を
発生する部品



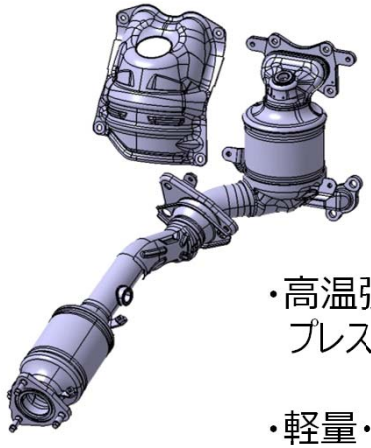
採用車種：Honda フリード（2016年9月発売）

マイクロレベルの精密金型技術
1マイクロの精度が必要な製品を生み出すための
高精密な金型設計・製作・調整技術

超高速精密プレス技術
高速かつ高い材料歩留まり率を実現する軽量・高剛性
金型によるプレス技術

高品質な完全自動生産技術
高品質と安定生産を実現するプレスから梱包までの完全
自動化技術

キャタリストコンバータ

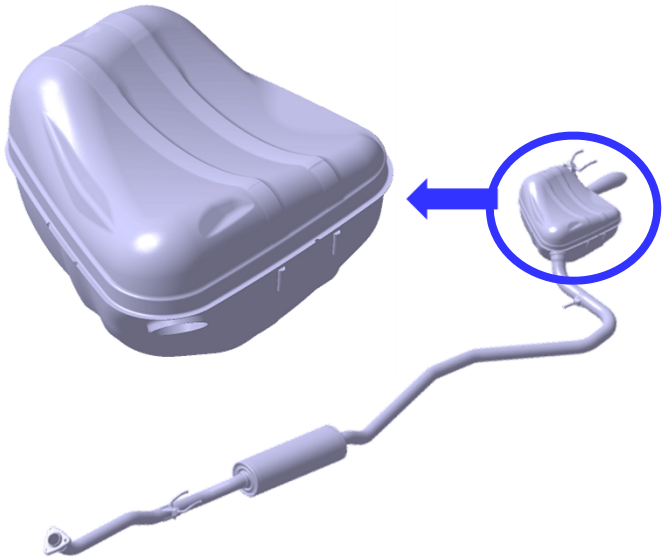


・高温強度、一体成形のニーズに対応した
プレス成型技術

・軽量・コンパクト設計

プレスサイレンサー　グローバル展開

新開発　プレスサイレンサー





ブラジル、タイ、中国、イギリスの
4拠点でプレスサイレンサーを生産

特徴・性能

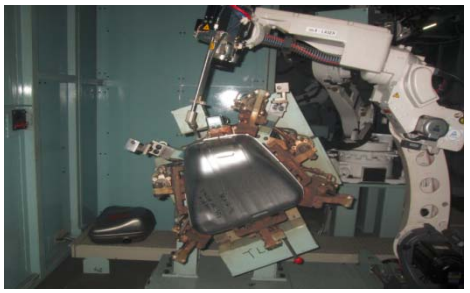
・省スペース化を実現
（限られたスペース内で効率よく容量確保が可能）
・構成部品の薄板化により軽量化を実現
・空力性能向上により、燃費に貢献

	前ﾓﾃﾞﾙCIVIC	新型CIVIC	効果
重量	3.6kg	3.3kg	－8.3%

※同容積比にて算出

Yutakaの技術力

・薄板(0.8mm)深絞り高精度プレス技術
・凹凸形状への高難易度レーザー溶接技術




YUTAKA
Clean for the Future